

相模エナジー通信

ご挨拶

残暑厳しい中にも、少しずつ秋の訪れを感じられる季節となりました。8月は橋本七夕まつりに参加したり、田名の花火大会に遊びに行ったりと、夏を存分に楽しむ事が出来ました！十五夜も近づいてまいりました。心穏やかに、秋のお月見を楽しんでくださいね！

この夏始まる!!

酷暑乗り切り緊急支援策

現在、酷暑が続いている影響により電気の需要量が例年に比べ高まっています。そのため2024年9月検針分からの3か月間で新たに「酷暑乗り切り緊急支援策」という政策が始まります。これは国が定める値引き単価に基づき、電気・都市ガスの使用量に応じた料金の値引きを行い、急激な料金の上昇によって影響を受ける家庭・企業に支援を実施するという政策です。これらを受けるための手続きは必要ありません！酷暑は続きますが政策など電気料金を理解した上で節電と暑さ対策をしましょう！

年月 (検針日)		2024年					
		5月	6月	7月	8月	9月	10月
電圧 区分	低圧	3.5円/kWh	補助なし	補助なし	4.0円/kWh	2.5円/kWh	
	高圧	1.8円/kWh	補助なし	補助なし	2.0円/kWh	1.3円/kWh	

実績



2023年4月～2024年9月
獲得合計契約地点数

511地点

低圧電力
343地点

+3地点 (前月比)

高圧電力
168地点

+2地点 (前月比)

電気の豆知識

省エネ生活を加速させる「蓄電池」

近年、産業用蓄電池を導入している企業が増えてきました。2020年までは、オフィス・福祉施設・病院などで、万が一送電が停止してしまった場合に備えて、非常用電源としてBCP対策目的で導入が進められてきました。2022年以降は電気料金の高騰により、太陽光パネルと蓄電池を併用し、太陽光発電で発電した電力を蓄電池に貯め電気代が高い時間帯にその電力を使うといったように電気料金を削減する目的で導入される企業が増えています。さらには、蓄電池を導入する際の補助金事業を行っている会社などもあり、今後も需要が高まっていくことでしょう。

⚠️ 電力需給ひっ迫はなぜ起こる? ⚠️

私たちが毎日使っている電力は、需要と供給のバランスが常に一致していなければなりません。このバランスが崩れ、電力の需要が供給量を上回ってしまうと、電力需給ひっ迫や停電の原因となります。需給バランスが崩れてしまう背景には、天候はもちろん、災害による原子力発電所の稼働制限、電力会社のLNG(天然ガス)在庫が低下してLNG火力発電の稼働に制約が生じたほか、石炭火力発電でも設備故障などによる計画外停止が相次いだことなどがあげられます。

そもそも

電力需給がひっ迫するとどうなるの?

電力需給の状態は電力予備率（電力需要に対して供給余力の余裕がどの程度あるかを示したものである）で数値化されています。

- ✔️ 予備率5%以下「電力需給ひっ迫注意報」
- ✔️ 予備率3%以下「電力需給ひっ迫警報」
- ✔️ 予備率1%以下「計画停電」を実施

→事前に経済産業省資源エネルギー庁から対象エリアにお住まいの方の携帯電話に向けて、緊急速報メールが発信されます。



電力需給のひっ迫が起こった際に企業が取るべき行動

- ①電力需給状況を確認する
→一般送配電事業者がHPで提供している「でんき予報」で確認可能
- ②節電を意識する
- ③万が一の停電に備える

未来エール活動



牡蠣やつぶ貝の他に
お酒やノンアルコールの販売をしました！



橋本七夕まつり

8/23.4「橋本七夕祭り」にヘアサロンJo-Jiと共同出店致しました。相模エナジーとして初めての本格的なお祭り出店となり、大盛況の3日間となりました。ただの出店ではなく、子ども・地域を盛り上げるYEELブースにも挑戦し多くの地域の方と交流することができ、大変喜んで頂きました。今後も電力販売会社として地域貢献ため、より良いサービスを提供できるよう、努めてまいります。沢山のご来場ありがとうございました！！
協力：Joji-hair, ZAZA

